2024年度 エコアクション21

環境経営レポート

【 第3版 】

【 活動期間：2023年2月～2024年1月 】

総合建設業/リフォーム工事業

株式会社杉田建設

発行日 2024年7月1日

～目次～

1. 組織と事業活動の概要	…	P.1～P.2
2. 実施体制	…	P.3
3. 環境経営方針	…	P.4
4. 環境経営目標	…	P.5
5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	…	P.6～7
6. 環境経営計画の取組み状況とその評価	…	P.8
7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	…	P.9～P10
8. 代表者による全体の評価と見直し	…	P.11

1. 組織と事業活動の概要

組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社杉田建設
代表取締役 杉田 匡織

(2) 所在地

本社 大分県大分市大字横尾1896番1
資材置場 大分県大分市大字横尾1871

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 事務局 TEL:097-578-9157
担当者 事務局 FAX:097-578-9158
E-mail: sugiken.oita@gmail.com
HP : http://www.sugitakensetsu.com/

(4) 事業内容

【建設業許可】

許可番号 大分県知事 許可(般-3)第13964号
建設業の種類 とび・土工工事業・塗装工事業・防水工事業
内装仕上工事業

【解体工事業の登録】

登録番号 大分県知事 (登-1)第480号

【産業廃棄物収集運搬許可証】

許可番号 大分県知事 第04402204146
有効期間 令和3年4月18日から令和8年4月17日

産業廃棄物の種類

燃え殻、汚泥(有機汚泥、無機汚泥を含む)、廃油、
廃プラスチック類(自動車等破砕物、廃プリント配線板、廃容器包装を含む)、
紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物、廃プリント
配線板、鉛蓄電池の電極であって不要物であるもの、鉛製の管又は板で
あって不要物であるもの、廃容器包装を含む)、ガラスくず等(自動車等破砕
物、廃ブラウン管(側面部に限る)、廃石膏ボード、廃容器包装を含む)、
銧さい、がれき類、ばいじん

(以上13種類。ただし、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

個別の品目の取り扱いは以下のとおり。含む:石綿含有廃棄物、水銀使用製品
産業廃棄物、水銀含有ばいじん等)

注記 積み替え又は保管行為を含まない。

(5)産業廃棄物収集運搬の品目
(自社運搬の収集運搬量)

品目	対象年月	2023年～2024年 (2月～1月) 単位:t
コンクリート		2,645,610
アスファルトがら		167,140
その他がれき		508,405
ガラス・陶磁器くず		21,590
廃プラ類		55,090
混合(安定型)		23,570
紙くず		4,594
木くず		747,590
繊維くず		27,740
廃石膏ボード		63,540

【産業廃棄物収集運搬の品目】
(下請け工事で受託した収集運搬量)

品目	対象年月	2023年～2024年 (2月～1月) 単位:t
コンクリートがら		15,000

【産業廃棄物収集運搬許可車両 14台】

	車両名	車両番号	車体の形状
1	アームロール	大分100ね3333	脱着装置付コンテナ専用車
2	アームロール	大分100さ7556	脱着装置付コンテナ専用車
3	アームロール	大分100さ9026	脱着装置付コンテナ専用車
4	2tダンプ	大分400ひ3333	ダンプ
5	2tダンプ	大分44ら7226	ダンプ
6	4tダンプ	大分100ぬ3333	ダンプ
7	4tダンプ	大分100は3333	ダンプ
8	軽トラ	大分480せ3333	キャブオーバー
9	軽トラ	大分480す2186	キャブオーバー
10	ピックアップ	大分400の3333	キャブオーバー
11	2tロング	大分100な3333	キャブオーバー
12	軽バン	大分480そ3333	バン
13	軽トラ	大分480て1329	ダンプ
14	3tアームロール	大分100す9812	脱着装置付コンテナ専用車

(6)事業規模

設立年月日	2014年8月28日
資本金	1,000万円
売上高	売上高区分A(5億円未満)
従業員数	16人
本社	床面積 113.77㎡
資材置場	面積 1.221㎡

(7) 事業年度 期首8月 ～ 期末7月

(8) 環境年度 期首2月 ～ 期末1月

(9) その他 《ISO9001:2015》

(10) 認証・登録範囲

当社は、全組織及び全事業活動(とび・土工工事業、塗装工事業、防水工事業、解体工事業、内装仕上工事業、産業廃棄物収集運搬業)を対象としています。

2. 実施体制

エコアクション21役割・責任及び権限

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する総括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体評価及び目標見直しを実施する ・環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用・管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守評価結果を承認する ・環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態を特定し、対応策を承認する ・問題点に対する是正処置、再発予防 ・環境経営レポートの確認をする
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書類作成・管理 ・環境経営に関する目標・実績集計 ・環境関連外部との窓口 ・環境経営レポートを作成する
エコアクション21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画を共有する ・効果的な活動を推進するため、各部門間の連携を図る ・環境活動に関する意見交換
各部門	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の活動に必要な手順書を作成、管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標などを理解し自らの役割を理解する ・環境活動に自主的、積極的に参加し、改善提案に努める

3. 環境経営方針

<基本理念>

株式会社杉田建設は、地球環境を守るため、建設事業活動及び産業廃棄物収集運搬業務での環境に与える影響を認識し、従業員一人一人が、自然・環境を大切にし継続的な環境負荷削減を目指しております。

<行動指針>

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- (1) 電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。
- (2) 産業廃棄物収集運搬における効率的な業務に努める
- (3) 事業所・建設工事における産廃物排出量の削減及びリサイクルに努めます。
- (4) 水資源を大切にし節水に努める。
- (5) 環境に有害な物質を適切に管理する。
- (6) 環境に配慮した施工方法を推進し、環境配慮の材料を使用する。
- (7) 事務用品のグリーン購入、一般廃棄物の排出量削減を推進します。
- (8) 地域貢献活動に積極的に取り組みます。

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日： 2022年3月1日

株式会社杉田建設
代表取締役 杉田 匡織

4. 環境経営目標(年間)

環境経営方針番号	選択課題		基準年度	目標値		
			2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度
			単位	基準年度比	基準年度比	基準年度比
1	二酸化炭素排出量削減	合計	115846 kg-CO2	114688 △1%	113529 △2%	112371 △3%
		事務所	48448 kg-CO2	47963 △1%	47479 △2%	46994 △3%
		現場	67399 kg-CO2	66725 △1%	66051 △2%	65377 △3%
1-1	電力消費量削減	合計	7,883 kWh	7,804 △1%	7,725 △2%	7,647 △3%
		事務所	7,804 kWh	7726 △1%	7648 △2%	7570 △3%
		資材置場	79 kWh	78 △1%	77 △2%	77 △3%
1-2	ガソリン消費量削減	合計	13,673 ℓ	13536 △1%	13400 △2%	13263 △3%
		事務所	5,451 ℓ	5396 △1%	5342 △2%	5287 △3%
		現場	8,222 ℓ	8140 △1%	8058 △2%	7975 △3%
1-3	軽油消費量削減	合計	31,195 ℓ	30883 △1%	30571 △2%	30259 △3%
		事務所	12,479 ℓ	12,354 △1%	12,229 △2%	12,105 △3%
		現場	18,716 ℓ	18,529 △1%	18,342 △2%	18,155 △3%
2	建設廃棄物排出量削減 (再資源化率)	現場	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
	収集運搬の効率管理	現場	計画的配車	計画的配車	計画的配車	計画的配車
3	水使用量削減	事務所	76 m ³	75 △1%	74 △2%	74 △3%
4	化学物質使用量管理	現場	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理
5	環境に配慮した建設機械・材料の使用及び施工	現場	100 %	環境に配慮した機械の選定・優先的使用に努める	環境に配慮した機械の選定・優先的使用に努める	環境に配慮した機械の選定・優先的使用に努める
6	グリーン購入の推進	事務所	継続購入	優先的購入に努める	優先的購入に努める	優先的購入に努める
7	社会貢献活動	事務所	6	社会貢献活動への積極的参加に努める	社会貢献活動への積極的参加に努める	社会貢献活動への積極的参加に努める
		現場	6			

※電力の二酸化炭素排出係数=九州電力2022年度 0.462kg-co2/kWh(調整後排出係数)

5.環境経営目標、環境経営計画の結果に対する評価、次年度の取組み内容

対象期間2023年2月～2024月1月

結果の評価基準:◎120%以上 ○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

No.	環境経営目標	基準年度 2022年度	2023年度 目標△1%	2023年度 実績	目標 達成度	評価
1	二酸化炭素排出量削減 単位: kg-CO ₂	115856	114697	127,123	90%	△
評価 次年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は未達成だった。 ・次年度の取組みは下記に記載する。 					
1	電力消費量削減 単位 kwh	7883	7804	10312	76%	×
評価 次年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は未達成だった。 ・エアコンの温度管理、サーキュレーター併用で消費量に削減に努めたが、目標は達成できなかった。 ・引き続き節電等に努める。 					
1	ガソリン消費量削減 単位ℓ	13673	13536	13287	102%	○
評価 次年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成であった。 ・引き続きエコドライブの推進をして省エネ運転への意識向上を図る。 					
1	軽油消費量削減 単位 ℓ	31195	30883	35478	87%	×
評価 次年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は未達成だった。 ・現場件数の増加に伴い、燃料の使用量増加に繋がった。 ・エコドライブの推進をして省エネ運転への意識向上を図る。重機の効率的な使用方法を検討していく。 					
2	廃棄物再資源化率 単位 %	90%以上	90%以上	99%	100%	○
評価 次年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①目標は達成できた。 ②売上高増加に伴い、産業廃棄物の排出量は増えたが再資源化率90%以上維持できた。 ③今後も、分別を徹底し、再資源化に対する社員の意識向上に努める。 					
2	収集運搬の効率管理 計画的配車	計画的配車	計画的配車	計画的な 配車を実施した	100%	○
評価 次年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①目標は達成できた。 ②今後も産業廃棄物収集運搬ルートの計画的配車を行い、効率向上に努める。 ③継続して実施していく。 					
3	水使用量削減 単位: m ³	76	74.48	73	102%	○
評価 次年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成だった。 ・目標を達成できたが、引き続き節水に対する社員の意識向上を推進していく。 					

5.環境経営目標、環境経営計画の結果に対する評価、次年度の取組み内容

対象期間2022年8月～2023月7月

結果の評価基準:◎120%以上 ○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

4	化学物質使用量 適正管理	適切管理	適切管理	適切に管理が できた	100%	○
評価 次年度の 取組内容	①目標は達成できた。 ②適切管理に努め、該当する化学物質の使用量が減った。 ③今後も取組みを継続していく。					
5	環境に配慮した 施工管理	随時行う	随時行う	環境に配慮した 施工管理ができた	100%	○
評価 次年度の 取組内容	①目標は達成出来た。 ②再生クラッシュランなどの使用 作業時間の厳守 ③継続して実施していく。					
6	グリーン購入推進	優先的購入 に努める	優先的購入 に努める	優先的購入 ができた	100%	○
評価 次年度の 取組内容	①目標は達成できた。 ②エコ商品を優先して購入した。 ③今後も活動を継続していく。					
7	社会貢献への参加	社会貢献活動 への参加	社会貢献活動 への参加	社会貢献活動 に参加した	100%	○
評価 次年度の 取組内容	①目標は達成できた。 ②施工現場付近の清掃を実施した。 ③継続して実施していく。					

6.環境経営計画の取組み状況とその評価

評価判定：○＝出来た △＝改善の余地あり ×＝出来なかった

環境方針 番号	環境目標課題	具体的な行動(活動)	事務所	資材置場 現場
1 二酸化炭素 排出量削減	1-1 電力消費量削減	・不在時の消灯の徹底	○	○
		・使用時以外のトイレ、会議室等の消灯	○	-
		・冷暖房の適切な温度設定	△	-
		・OA機器の退社時の電源オフ	○	-
		・節電の表示を行う	○	-
		・空調機フィルターの定期清掃	○	-
		・クールビズの推進	○	-
	1-2 ガソリン消費量削減	・エコドライブの推進	○	○
		・タイヤの空気圧など定期点検	○	○
		・法定速度の遵守	○	○
		・アイドリングストップの推進	○	△
	1-3 軽油消費量削減	・エコドライブの推進	○	○
		・タイヤの空気圧など定期点検	○	○
・法定速度の遵守		○	○	
・アイドリングストップの推進		○	△	
2	廃棄物の再資源化の推進	・再生紙、裏紙の使用	○	-
		・使い捨て製品の購入の抑制	○	-
		・コピー機のトナーカートリッジの回収・リサイクルの推進	○	-
		・現場で発生した資材等の再利用、廃棄物のリサイクル	-	○
		・適正なマニフェスト管理を行う	○	-
	収集運搬の効率管理	・管理者による計画的配車	-	○
		・担当者は、安全かつ経済的ルートを選択する	-	○
3	水使用量削減	・節水の表示を行う	○	-
		・洗い物をまとめてする	○	-
4	化学物質の適正管理	・シンナー類の保管場所を決める	-	○
		・吸込み中毒などに気を付けて使用する	-	○
5	環境に配慮した施工管理	・低騒音・低振動型建設機械の優先使用	-	○
		・燃費消費量の少ない建設機械の使用	-	○
		・再生材料から作られた資材の優先使用	-	○
		・第2次基準値排出ガス対策型以上の建設機械の使用	-	○
		・工事現場近隣への連絡	-	○
6	グリーン購入の推進	・エコマーク商品の優先購入	○	-
7	社会貢献活動	・所属団体や公共機関のボランティアに積極的に参加する	-	○
		・会社・現場周辺の清掃	○	○

7. 環境関連法規等の順守状況の確認

当社の事業経営活動に適用される主な関連法規は、以下の通りです。

基準：○できた △一部達成 ×できなかった

法律等の名称	当社に適用される要求事項	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託基準	○
	産業廃棄物管理票	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	○
	産業廃棄物収集運搬許可証携帯	○
	多量排出事業者（産業廃棄物処理計画書報告 1回/年）	○
建設リサイクル法	建設工事の事前届出	○
大気汚染防止法	建築物石綿含有建材事前調査	○
	石綿含有建材・事前調査結果報告システム（gBiz）	○
労働安全衛生法	健康診断の実施	○
自動車リサイクル法	社用車の適切な破棄	○
騒音規制法	特定建設工事の事前届出	○
	規制基準の遵守義務	○
フロン排出抑制法 （解体工事）	解体前の特定施設の事前調査	○
	フロン処理後の特定施設の解体	○
振動規制法	特定建設工事の事前届出	○
	規制基準の遵守義務	○
道路交通法	アルコール検知器の実施	○
	道路の使用の許可	○
道路法	道路の占用の許可	○
消防法	危険物等の管理	○
化学物質管理法	化学物質のSDS管理・使用量把握	○
浄化槽法	浄化槽設置後の外観検査・水質検査	○
	定期検査（毎年1回の法定検査の実施）	○

・ 遵守状況を確認した結果、環境関連法規は遵守されていました。

・ 外部からの苦情・訴訟等は確認されませんでした。

8.活動状況

エコキャップ推進運動

低騒音型建設機械の使用

古切手の回収

扇風機使用（夏場）

コピー用紙(裏紙)の利用

節電・節水の呼び掛け

代表者による全体評価と見直し結果

評価対象の期間	2023年2月～2024年1月		
見直し実施日時	2024年6月28日(金)13時～	場所	株式会社 杉田建設
出席者	代表者 杉田 匡織 環境管理責任者 事務局		

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	法令違反・苦情等ありませんでした。	問題なし。 今後も順守していく。
2 環境経営目標の達成状況	工事件数の増加に伴い、燃料の使用、CO ₂ 排出量が増加。エコドライブを心掛ける。	引き続き取組みを継続していく。
3 環境経営計画の実施状況	引き続き徹底していく。	引き続き徹底していく。
4 問題点の是正、予防の状況	定期的に会議を実施し協議、対処していく。	目標に対し改善余地のある部分を、全社員に周知し、意識し活動していく。
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情や要望は特になかった為、継続していく。	今後も周辺の環境に気を付けながら、継続していく。
6 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	特に問題はなかった。	問題なし。
7 その他	特になし。	特になし。

と見直し者の 必指要 示性 内判 容断	①環境経営方針	継続する。
	②環境経営目標	継続する。
	③環境経営計画	継続する。
	④実施体制	継続する。
	その他の指示	社員数が増えたことにより、指導していく中で社員全体がエコアクション21の取組みについて再認識し省エネに対する意識向上ができた。引き続き省エネに対する意識をもち取り組んでもらいたい。